



Dreams Come True

伊良波中学校 進路だより

第6号

令和5年6月14日

伊良波中学校

『いつから考える? ☆進路☆』

先日、3年の総合で「内申点と推薦入試について」で学習を行いました。来年度からは推薦入試が大幅に変わり「特色選抜」が導入されますので、現在の1・2年生には、あてはまらないものもありますが、特色選抜または一般入試のどちらを受けるにしても大事な内容です。よく読んで1年後、2年後に役立てるようにしてください。
* 特色選抜については県から今年度内に新たな情報がありましたら、このたよりを通じて連絡します。なお2年生には、2学期頃、特色選抜について説明する予定です。

進路決定に大きく影響するのが3年間の評定や行動です!

(1) 内申書は9教科評定の3年間の合計です。

① 3年生になると意欲的に学習し、9教科の内申が上がる生徒が多くなります。

しかし、1・2年生の評定との合計を含めた内申点となると、受検前の実力より低い数値になり、志望校を変更する生徒がいます。

② 高校によって、学科に関する教科を何倍かして合格判定をする場合もありますが、中学校から提出する書類の内申点は、9教科評定の3年間の合計です。但し、高校において実技4教科内申点を1.5倍して合計されることがほとんどです。

〔主要5教科(国数理社英)3年間の合計+実技教科4教科(技家音美体)3年間の合計×1.5〕

(2) 校内推薦はもとより一般入試でも1・2年生の行動が大切です。

① 1・2年生のときから学力面行動面の向上に努め健康管理にもしっかり気をつけて欠席欠課のない元気な学校生活を送りましょう。

② 資格試験や諸活動(学級活動、委員会活動、部活動、奉仕活動など)に一生懸命取り組み、充実した3年間にしましょう。



身なりや言葉づかいは日頃からきちんとするように心がけましょう!

(1) 推薦入試だけでなく一般入試にも面接があり、必ず全員が面接を受けます。大切な時や緊張している時、日頃の行いが自然と出てしまいます。

(2) 各高校とも身なりを重視しており、入試に影響するという以前に高校の学校説明会や体験入学の際にも、身なりをきちんとしていることが条件になります。

(3) 中学校は集団生活を学ぶ場です。校則を守り時と場に応じた行動をとり、丁寧な言葉づかいができるようにしましょう。

早い時期に具体的な進路について考えましょう!

(1) 目標が決まると何事に関しても意欲的に取り組めるようになります。

(2) 3年生になると1学期の後半から各高校の学校説明会や体験入学に参加します。

(3) 3年生の2学期になっても進路が決定できないと、行きたい高校に進学するのではなく行ける高校という気持ちになりがちです。



常に新しい情報を収集し、家族や身近な人と話をしましょう!

(1) 高校入試の変革期となっており、次年度からは特色選抜も行われるなど、受検する年度によって学科改変や制度の変更、少子化による学級減などの変化があります

(2) 学校からの進路情報や担任の先生の話などを家庭でも話題にして進路について考える機会としましょう。

(3) 家族以外にも先輩や親戚、知り合いなど身近な人の話は生きた情報となります。進路選択の体験談や現状、生き方について話を聞く機会をつくりましょう。

(4) 各高校のホームページに学校紹介から合格判定基準まで載っています。参考にしましょう。



裏面に、校内推薦基準を載せています(3年配布のもののみ載せています。1・2年からは特色選抜になるので混乱をさけるためです。ご了承ください。)